真の　かさとは（前半）

：

明:この世界の真理について。

目: 事イスラ　ムの信条人生の目的

より: ヤ　セル　アル＝カ　ディ

日25 Nov 2013

集日 21 Sep 2014

多くの人々は、真の　かさや、本物の宝とは、金　のことであると　め付けてしまっています。　かさが、神がしもべに授ける　大な祝福であることは、　かに　いありません。そしてそれを正しい方法で稼がれ、　切に　やされ、それを必要としている人々に与える者が、神からの多大な　を受けることに疑念はありません。

しかしながら、　かさは人　に与えられる最高の祝福ではありません。さらに、人がいかに富を有していようが、やがてそれは彼の手から　れ去り、他人の手に渡っていくものなのです。　言者ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）は、教友に次のことを　し、私たちにそのことを思い起こさせます。

“??”

????????“??”

??????????“??”????????????

したがって、　には人の所有する　の大半は、やがてその人物の相 人の手に渡りますが、神の道において やされたものは、来世においてもその人物を益し けることになります。

神はその点をクルア ンにおいて　します。

“???”??????18?46?

富と子女は 世における しみの一つですが、善行は永久に残るものであり、家族や富は残るものではありません。善行こそが神のご 悦に し、人はそれを行うことによって、来世における永久の　を期待することが出来るのです。クルア ンはそのことを明 にします。

“???”??????34?37?

よく知られた、またよく り返される比 として、クルア ンには 世を降雨の に繁茂するも、しばらくすると萎れてしぼんでしまう作物にたとえている 所があります。クルア ンはこう述べています。

“???”??????57?20?

イマ ム アッ＝サアディ はこの の注 のまとめとして、以下のような非常に美しい文章をしています：

「この で、神は我々に 世の真の性 と、それが何を基に成り立っているのか、またその最 と、そこにいる人々の末路について告げ知らせています。かれは、それが なる れと享 であり、我々の身体はそこで れ、我々の心は享 していることを告げ知らせているのです。そしてこれこそは、 世に う人々が基づいているものであり、彼らは己の心を享で たすために、人生すべてを　にしていることを いだすことが出来るのです。彼らは神

への想念について、そして（来世における）　と　について完全に 知なのです。彼らは己の宗教を　や 晴らしとして捉えているのです。

これは意 の高い人々、そして来世のために努力する人々とは 照的なことです。彼らの心は神への想念、神への知 、そして神への 情に ち溢れています。そして彼らは、自分たちだけでなく、他者をも益する行 に勤しみつつ、それによって神へのお近付きをしているのです。そして「 び れ」という言 は、人々が自らの衣服、 食、移 手段、家屋、邸宅、名声などにおいて、美化しようと みるという意味です。また、「虚 と、たがいの の 示であり、　と子女の り合い」は、 もが（ 世に） 着を持っており、 者となるために他者を出し こうとしていることを意味しています。人はそれを通して、あらゆる 望がたされることを望んでいるのです。そして（それは　と子女において 著に られ）、各人は他者よりも多くの　と子女を望むのです。そしてこれこそは、 世を溺 し、そこに 足する者たちに起きていることなのです。

しかし、これは 世とその真 を　する者にとっては 照的なことであり、そうした人物は 世を目的ではなく、通 点とするのです。彼は神へのお近付きにおいて い合い、 束された目的地へと　に辿りつけるよう、必要な手段を取るのです。したがって、そうした人物が　や子女において い合おうとする者を ても、彼はその代わりに、善行によってそうした者と い合うのです。

また、神は 世のたとえ をします。それは地上に降る雨のようであり、それは人 や 物によって食べられる植物と混ざり、大地はその美をあらわにし、 世より先を 通すことの出来ない不信仰者はその果 に魅了されますが、そこで神の命令が下されます。それは破 され、枯れ果て、あたかも大地は を与えたことのなかったかのように、そして美は存在しなかったかのように、元の状 に ります。

世とはこういったものなのです。それが え、美を繁茂させるとき、その宝からは欲するものを取ることができ、何かを 成したければ、その扉は かれているのを いだすことが出来るものの、神の定めはあるとき突然振りかかるのです。それによって、 世で稼いだ物 は彼の手から れ去り、または彼自身がそこから取り除かれ、彼がそこから得ることが出来た唯一のものとは（彼の 体を包む）白布だけだったのです。それゆえ、 世

を目的とし、そのためにすべてを 牲にし、人生のすべてをそれに捧げる者には深い悲しみがあるのです。

来世における行 には、真の有益なものがあります。そこでは（行 の果 ）が 蓄されており、彼と共に永久に付き添うのです。そのため、神はこのように仰せられています。

“??”??????35?7?

来世ではその2つのものだけとなります。　とは地 の 火であり、その穴と 、そしてあらゆる恐怖が待ち受けます。それは 世を目的とし、そこを最 的な 着点とし、神に反抗し、そのみしるしを拒 し、かれの祝福を感 しなかった者たちのためのものです。

そして神による罪の赦し、あらゆる　の免除、また神によるご 悦は、至福の住 （天国）のために努力をした者たちに して授けられます。それは、 世の真の性 を　したゆえに、来世のために真の努力をした者たちのことなのです。

これらすべては私たちの 世への欲求を 退させ、来世への 望を 加させるべきでしょう。そして神はそれゆえ、このように仰せられています。
“本当に 世の生活は、虚しい欺 の享 に ぎない。”
このような（ 世での）享 は人が益し、必要性を たすことの出来るものです。しかし、意思の弱い者たちはそれによって欺かれ、 足し、こうした者たちを、神は 欺者（シャイタ ン）によって欺かせることをお しとなるのです。[2]

Footnotes:

1

言い えると、「あなた方のうち、自分自身の 在有しているお金よりも、自分の死 に（息子や娘などの）相 人が受け
分の　を するものはいるでしょうか? 」

2 タフスィ ル アッ＝サアディ

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/2179

著作　2006-2015 断　を禁じます。　2006 - 2023　IslamReligion.com. 断　を禁じます。